



## 「地域連携・相談支援室って？」

地域連携室長・内科部長 原田 孝



◀前列左2番目が内科部長の原田医師

一言で言うと、何か困ったことがあったときに来ていただく場所です。

事務2名、相談員3名、退院調整看護師2名、医師1名の8名が、それぞれの専門知識を生かしながら、業務を行っています。その内容を紹介します。

## 相談支援室として…

医療費などの経済的な問題の相談、福祉サービスや制度に関する相談、身体障害者手帳や特定疾患の申請、医療安全やがん診療に関わる相談などを行っています。

外来通院中の患者様ご家族様の相談承っておりますので、お気軽に声をかけてください。

## 退院支援について…

入院中の患者様で、退院後の療養生活に不安のある方には、患者様やご家族の方々と相談しながら、退院の準備を支援します。

地域の医師会の先生方、サービス部門や施設、行政とも連携して地域で生活を続けられるよう支援します。

## 地域連携室として…

地域の医療機関との窓口として、紹介患者の受け入れ、紹介状に対する返事の送信

胃瘻増設、交換予約の対応、地域医療機関との情報交換など、患者様の診療がスムーズに行われるように努めています。

地域連携・相談支援室は新病院でも入り口を入ってすぐの場所に設置される予定です。

笑顔で皆さんをお迎えします。気軽にお越しください。「病院のオアシス」になればいいなと思います。



1/200スケール

## 「新病院の模型」を展示



病院玄関を入った右手にある「進捗情報コーナー」に新病院の模型を展示しています。パンフレットもありますので、来院時にご覧ください。



# 建設現場での 設計事務所の役割

株式会社INA新建築研究所

平成24年3月に新病院建設の設計事務所を選定されてから、基本設計・実施設計を経て、設計監理業務という段階にあります。

## ① 設計監理業務

設計監理業務では、病院の方々との平面詳細図による打ち合わせ、工事現場での各種製作図の確認・承認などを行い、最終確認した上で施工に反映させていく作業となります。現在は、鉄骨建方という鉄骨を組み立てる工事を行っていますが、それまでには、様々な確認・検査を行います。



①鉄骨工場検査



③鉄骨建て方検査



②鉄骨現場受け入れ検査



④床配筋検査

## ② INAスタッフ紹介

工事現場では、設計時からのメンバーのほか設計監理業務担当者も業務に加わり、チーム一丸で新しい利根中央病院の建設に携わっています。

社内において統括責任者、主任技術者などが最終確認を行います。工事現場では各担当がそれぞれの役割を担います。



### ■意匠設計担当

●属性：男・30代後半・未婚●病院の方々との打ち合わせによる内容を施工図に反映します。



### ■設計監理担当

●属性：男・40代前半・既婚（子供1人）●各種施工図の承認、工事現場での指示・検査を行います。



### ■意匠主任担当

●属性：男・40代後半・未婚●プロジェクトマネージャーとして、建築全体を取りまとめます。



### ■構造設計担当

●属性：男・30代後半・既婚（子供2人）●建物の骨組みとなる構造計画を担当し、安全な建築をつくります。



### ■機械設備設計担当

●属性：男・40代前半・未婚●快適性や衛生面に配慮し、新病院にふさわしい環境をつくります。



### ■電気設備設計担当

●属性：男・20代後半・未婚●病院機能を確実に確保し、省エネに配慮した建築をつくります。

# 「病室モデルルーム」見学班会 多くの意見が寄せられています

～8月末まで受付中～ ◆問い合わせ先 組織部(☎22-2300)

## ■出された意見とその対応

- ・トイレのナースコール：転倒しても押せる位置。押し間違えない位置へ ⇒ 参考に設置位置を検討します。
- ・メディカルコンソール：起き上がる際に頭がぶつかりそう⇒ベッド間、個室はベッド横に設置します。
- ・家具調床頭台：ベッド移動時、着替えや貴重品等全て入れ替えが必要で不便そう ⇒ 通常床頭台+衣装ケース（コンパクトなもの）を設置します。
- ・カーテン：ストライプ柄が入っていた方がよい。階ごとに色を変えるなどにしても楽しそう⇒参考にします。

・夜間灯：足元を照らすライトがあるとよい ⇒ 床頭台で対応します。

○その他：すごくよくなりますね。入院生活が快適になりそう。医師をはじめとしたスタッフの充実をお願いします。

みなさんの声を病棟WGで共有し、病室内配置案を再検討します。

「こんなによくなるの！」小野のぶさん  
「ベッドの堅さは大丈夫。床頭台は整理ができて仕切りになるね、なくても部屋の人が話ができるからいいかも。こんなに良くなるの」など、実際に見て期待が膨らみました。工事担当者からも地震や洪水時の説明を聞いて安心ができました。私たちは新病院の完成を楽しみにしています。また、みんなで見学に行きたいです。



▲沼田東支部 材木町1・2班

# 建設現場の進捗

6月下旬、第2節（5階床まで）の鉄骨建方が終了し、だいぶ新病院の形になってきました。

また本体棟東側に設置される「機械棟」も基礎工事が順調に進捗しています。

